

広上淳一 指揮

京都市交響楽団

大阪特別公演

ボロディン：歌劇「イーゴリ公」から
「ダッタン人の娘の踊り」「ダッタン人の踊り」
リムスキー＝コルサコフ：スペイン奇想曲 op.34

ビゼー：「カルメン」組曲セレクション

〈第1組曲から〉前奏曲～アラゴネーズ／間奏曲／セギディーリヤ／アルカラの竜騎兵／闘牛士
〈第2組曲から〉ハバネラ／闘牛士の歌／ジプシーの踊り

ラヴェル：ボレロ

CITY OF KYOTO SYMPHONY ORCHESTRA

2020 9/27(日) 2:00pm 開演 (1:00pm 開場) ザ・シンフォニーホール

A 5,500円 B 4,500円 C 3,000円 (消費税込) 主催 / ABCテレビ (公財) 京都市音楽芸術文化振興財団、京都市 協力 / ザ・シンフォニーホール

■ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 [10:00～18:00]
(火曜定休)

■ABCぴあ (webで予約・購入)

ABCぴあ <http://abc-ticket.pia.jp/>
検索 

携帯サイトは

こちら▶▶▶



ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

[平日10:00～17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

ABCクラシックガイドのホームページ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

ABC主催コンサート等のイベント情報をご覧いただけます。

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない

事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

お問い合わせ



3/22(日)発売

黄金コンビで描く ロシア！フランス！管弦楽傑作選!! 大阪だけのエキゾチック・プログラム!!!

広上淳一 指揮 京都交響楽団 大阪特別公演

今や、ザ・シンフォニーホールの人気公演!日本中から熱い視線が注がれる黄金コンビ“広上×京響”が贈る大阪だけの特別プログラム!今年はオーケストラの躍動や鼓動、様々な音の表情を追求したかのような王道にして究極の組み合わせ!前半はロシアを、後半はフランスを代表する管弦楽曲の極みをお届けします。

まずはボロディンの「ダッタン人の娘、ダッタン人の踊り」からリムスキー=コルサコフの「スペイン奇想曲」へ。エキゾチックで色彩感溢れる響きが会場のボルテージを一気に高めます。後半は、ビゼーの人気オペラ「カルメン」の管弦楽組曲から、マエストロが選んだスペシャルな全9曲を、スペインの薰りと名旋律満載の情熱的な音楽で、物語の世界にたっぷりと浸ってください。そしてラストは「ボレロ」!オーケストラの魔術師と呼ばれるラヴェルの最高傑作を豊潤な京響サウンドと抜群の音響空間で聴ける至福の瞬間。同じリズムに乗ったメロディが、楽器を変えて何度も繰り返され、壮大なクレッシェンドでフィナーレを迎えます!

ある時はフラメンコを、ある時は深紅の円卓で踊っているかのような広上マエストロ渾身のタクトで、京響完全燃焼のステージをぜひお楽しみに!!

広上 淳一 [常任指揮者兼芸術顧問]

Junichi Hirokami, Chief Conductor & Artistic Advisor

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モントリオール交響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング交響楽団、リンブルク交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団のポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス交響楽団音楽監督を務めヨーヨー・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。近年では、ライツツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキイ・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ボルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーバー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツアルトからブッチー、さらにオスバルド・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。京都市立芸術大学客員教授。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2019年度「京都市文化功労者」。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者、2014年4月から第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに就任し、2017年4月からは札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。2020年4月から京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問に就任予定。



© K.Miura



© 井上写真事務所 井上嘉和

京都市交響楽団 [管弦楽] City of Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月から下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立。2020年4月からは新指揮者体制として、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセロードが就任することが決定し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。